

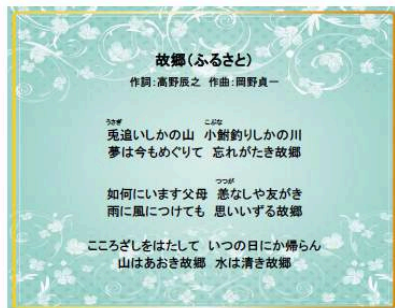
◆ 麻生副総理兼財務・金融大臣をお迎えして◆ ヘンドン日本人墓地80周年記念慰霊祭

2016年7月30日（土） 時間：午前11時より

場所：Hendon Park Cemetery, Holders Hill Road, Mill Hill, London NW7 1NB
(式次第表紙)



1936年8月墓地完成時の写真



2016年7月30日（土）午前11時
ヘンドン日本人墓地慰霊祭
在英同胞会墓地80周年記念
Hendon Japanese Cemetery 80th Anniversary Service
Hendon Park Cemetery, Holders Hill Road, Mill Hill, London NW7 1NB



英国日本人会
Japan Association in the UK

雨もなく、暑過ぎず、寒過ぎずの天候の中、麻生副総理兼財務・金融大臣、鶴岡駐英国日本大使、デビッド・ロングスタッフバーネット区長ご臨席の下、麻生副総理ご一行を含め、在英日本大使館員、英国日本人会会員、在英日本企業の代表など140名近くが参列して、予定の11時よりヘンドン墓地80周年記念式典が無事執り行われました。



墓地は1936年に造られ、これまでに165人が永眠されています。（埋葬、散骨、名前の列記のみを含む）

佐野会長はご挨拶のスピーチで「此処に眠る我等が祖先は今日では想像も出来ない幾多の苦難を乗り越えて英国での日本人の佇まいを持ち、英国人に愛され多くの

人的資産をお残し下さいました。後輩である我々は本日の記念式典を通じて改めて祖先の努力を敬い、心からの感謝の念を捧げるものであります」と述べられた後、「我々は遠く日本の地から離れても心は常に一つ日本を思いながらこの地に生きて参ります」と述べられました。



麻生副総理はスピーチで、当時、駐英国日本国大使だった祖父の吉田 茂元首相が、除幕式で語った、「どうか将来、荒廃に陥らぬよう、各人協力されたい」とのお言葉を紹介、また、ご両親が1937年に訪英中に吉田元首相の側近だった白洲次郎氏が、麻生副総理のお父様にお母様を紹介したのが縁で自分がこの世に生を受けたエピソードをお話しされ、

「英国の日本人社会がなければ私は存在しない」と笑いを誘っていました。

続いて、鶴岡駐英国日本国大使は

「日英関係が今日の交流を見るまでには、この墓地に永眠する方々をはじめ、数えきれない諸先輩の血の滲むようなご苦労があったことは言うまでもありません。ここに御礼への哀悼の意を捧げますと共に御前に集まった我々がこの墓碑を後世の人々に語り継いで行かなければならないと考えます。その上で両国関係の更なる発展を期するのが我々の責任だと思います」と述べられました。

読経・礼拝の後、献花、桜の植樹が行われました。

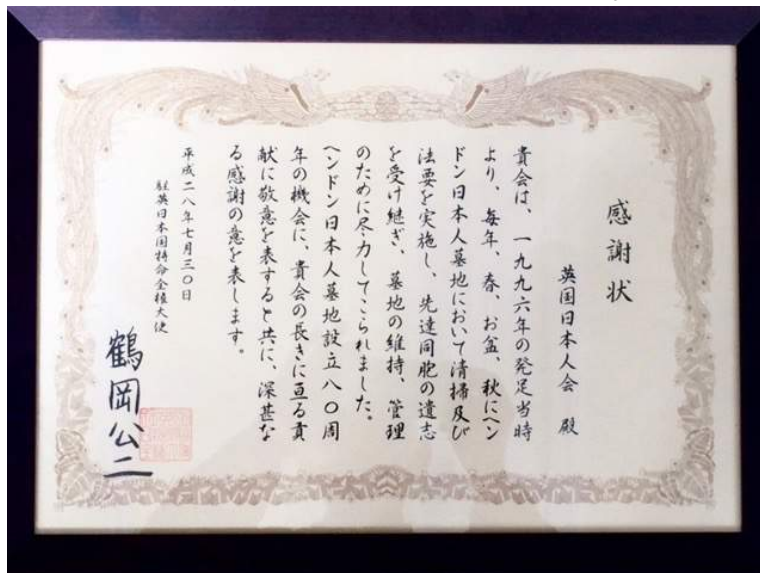
最後は会員の皆さんによる「故郷」斉唱で慰霊祭は幕を閉じました。



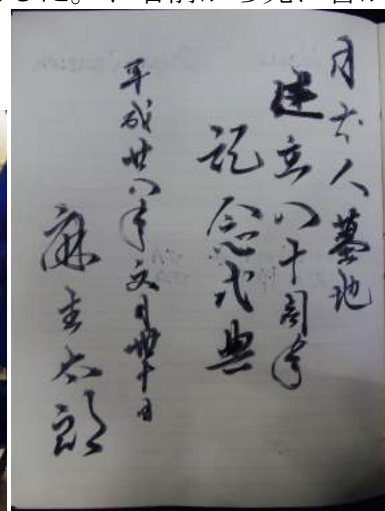
式典の後は、Hendon Golf Club (Ashley Walk, London NW7) に場所を移し、レセプションが行われました。鶴岡駐英国日本国大使より、長年ヘンドン日本人墓地をお守りしてきた英国日本人会に対し感謝状が手渡されました。



佐野会長は「80年の風雪を耐えて此処に立派な墓碑を残された祖先への感謝を心に、今の我々は新たな人生に向かっての夢と希望を持ってこの地で頑張っ参ります。」とのスピーチで、決意を新たにされました。



歓談の最中に、墓地管理部長 藤田幸子さんが、麻生副総理に芳名帳へお名前を書いて下さるようお願いしたところ、快諾して下さい、わざわざお付きの方を呼んで筆ペンを持ってこさせ書いて下さいました。お名前から先に書かれたそうです。



最後に、1997年より英国日本人会がお墓の管理を受け継いで、最初の墓地管理担当は 福留国紘さん、 トミ・フリーボーンさん、 百子ウイリアムズさん、現在が藤田幸子さんです。先輩の管理者、其々立派な事をされて来られ、現在の日本人墓地があり、墓地管理を担当して下さった方々に感謝の意を表します。

関連記事はこちら

●朝日新聞

<http://www.asahi.com/articles/ASJ70224ZJ70UHBI001.html>

●Barnet Whetstone & Press

<http://goo.gl/wiD96Y>

●フジテレビ

<http://www.fnn-news.com/news/headlines/articles/CONN00331986.html>

ヘンドン日本人墓地設立80周年式典次第
Hendon Japanese Cemetery 80th Anniversary Service Program

○ 式典(墓地) 午前11時より Ceremony (Hendon Cemetery) at 11:00

11:00 開会の辞 司会 Opening Address

挨拶 Speech	英国日本人会会長 Chairman, Japan Association in the UK	佐野 圭作 Kaisaku Sano
お言葉 Speech	副総理兼財務・金融担当大臣 Deputy Prime Minister, Minister of Finance and Minister of State for Financial Services of Japan	麻生 太郎 Taro Aso
	駐英大使 Ambassador of Japan to the UK	藤岡 公二 Koji Tsuruoka

11:10 慰霊祭 Memorial Service

(仏教:読経) Buddhism	僧侶 三輪精會主管 Priest, Director of Three Wheels	佐野 頼明 Kemmyo Taira Sato
(キリスト教:礼拝) Christianity	牧師 Priest	トム・プラント Tom Plant

11:25 献花 Placing the Flower

副総理兼財務・金融担当大臣 Deputy Prime Minister and Minister of Finance of Japan and Minister of State for Financial Services of Japan	麻生 太郎 Taro Aso
駐英大使 Ambassador of Japan to the UK	藤岡 公二 Koji Tsuruoka
パーネット区長 The Worshipful the Mayor of the London Borough of Barnet	デビッド ロングスタッフ David Longstaff

11:27 記念植樹 Planting of trees

副総理兼財務・金融担当大臣 Deputy Prime Minister and Minister of Finance of Japan and Minister of State for Financial Services of Japan	麻生 太郎 Taro Aso
駐英大使 Ambassador of Japan to the UK	藤岡 公二 Koji Tsuruoka
英国日本人会会長 Chairman, Japan Association in the UK	佐野 圭作 Kaisaku Sano
パーネット区長 The Worshipful the Mayor of the London Borough of Barnet	デビッド ロングスタッフ David Longstaff

11:30 開会の辞 司会 Closing Address

司会進行: 在英大使館総領事(英国日本人会名誉会長) MC: Consul General, Embassy of Japan in the UK	宇山 秀樹 Hideki Uyama
---	------------------------------

○ レセプション(ヘンドン・ゴルフクラブ): 正午12時より
Reception (Hendon Golf Club) at 12:00

主催者挨拶 Speech	英国日本人会会長 Chairman, Japan Association in the UK	佐野 圭作 Kaisaku Sano
来賓挨拶 Speech	パーネット区長 The Worshipful the Mayor of the London Borough of Barnet	デビッド ロングスタッフ David Longstaff

●同胞墓地除幕式
同日、ヘンドン日本人墓地の除幕式が行われ、約100名が参加した。除幕式は、先づ小川知聖氏の寄せてきた絶句一首が、厳然として墓前に佇立した参拜者の胸にこそ同様の高邁の迫り来るを感と得なかつたのである。

当日は墓地へ吉田大使を初め、山田副総理、後藤軍代表、伊藤三井支店長、齋藤郵船支店長、加納正金支店長、牧野伊東氏其他の他各銀行會社支那人、一般在留邦人数十名参拜、天候晴朗、午後三時、矢野委員長開式の辭を以て除幕の式開始された。

同胞會名譽會長松山晋二氏は「同胞愛の發露たる墓地成り本日竣工の慶典を舉ぐるに至り感謝に堪へない。地下の同胞は我が國民海外活躍の先鋒となつて働いた人である。今安らかに永眠する墓地を得たことは日本民族の發展上にも深い意義を爲すものである」との趣旨で式辭を述べ、同氏の手に依り「皇國同胞之墓」を覆へる



(照參事記) 景光式幕除石墓賜同英在

幕は静かに除かれたのである。次にヘンドン墓地收師の御霊還祈禱あり。参列の定であった鈴木大輔博士は支障の爲め出席出来なかつたが、帝大教授今村恒博博士は法華經の文句を引用左の辭を寄せられ、矢野委員長之を代讀した。

一天四海 普賢流布
後五百載 普及於一切
願以此功德 普及於一切
我等與衆生 普共成佛道

昭和十一年十月二日
爲 同胞會提
從三位勳二等理學博士今村恒博
吉田大使は「發起者の遺澤並に一般の後援に依つて茲に墓有建立の竣工を見たのは誠に羨ましいことである。斯うした金では何故もつと早くに爲されなかつたかと思へさせられる位である。折角立派に出葬上つた此の墓地はどうか將來荒廢に陥らぬやう各人協力されたい」と訓示を述べ、後一兩の二分間、諸行はれ、最後に松山會長より墓地建設に功績大なり同胞會委員殊に矢野委員長江口議員の名を挙げ並に参拜者其他後援者一同に満腔の謝意を表し、それより参拜者隨意参拜し四時十五分閉式した。

ヘンドン墓地除幕式(1936年10月3日)「日美新誌」記事・(大英図書館所蔵)

(式次第)